

災害時に設置する避難所における掲示物について

	掲示すべき内容	掲示場所	留意すべき事項	可否
1	絵マーク（トイレ・給水所・救護所等）	避難所の入り口	全国統一してほしい（どこへ避難しても理解できる）	
2	文字より絵マークをメインに簡潔な文章を添える （例）同じ方向なら重ねて示す 	同じ方向を指す場合なら	矢印は太くて濃く	
3	情報は、文字と一緒にシンプルなイラストで表示して下さい。			
4	コミュニケーションボード（明治安田こころの健康財団）を拡大印刷して掲示して下さい。言葉の不自由な方、外国の方にも役立ちます。			
5	トイレなどのマークは一般的に使われているシンプルなマークを使用して下さい。	場所がわかるように、矢印と一緒に数か所に貼って下さい。		
6	「配給時間は（朝・昼・夜）何処で何時から」など具体的に簡素に		大きくわかりやすい字体で	
7	混乱を回避するような目から理解できる会場内の見取り図		標識のようにわかりやすく	
8	大まかな一日のスケジュールを文字とイラストで掲示して下さい。見通しが持てると安心できます。			
9	障がい種別ごとに支援をしてもらえる場所の明記			

	掲示すべき内容	掲示場所	留意すべき事項	可否
10	矢印に行先別の色を付ける（トイレはブルー、救護はレッド等）し、可能ならば床に同じ色のテープを張り（点線や矢印でも）目的地まで続いているとよい			
11	病院の床の動線テープのように、トイレや各スペースまでをテープなどで表示して下さい。			
12	簡潔で直接的な表現をして下さい。 [例]「ここにごみを捨てない。」× →「ごみは〇〇に捨てる。」○			
13	「ここが避難所」「ここが入口」と一目でわかるように、遠方からでも目立つ看板や旗を掲げて下さい。	避難所の周り数か所		
14	聴覚障害者は、音の情報が入らないため、入ってはいけないスペースや、触ったり手にしてはいけない物がわからない時があるため、「立ち入り禁止」や、「触らないで」、もしくは、「ご自由にお取りください」、「一人何個まで」等、具体的に表示してほしい。		禁止事項や制限があるもの（行為）すべて	